

千葉大学環境リモートセンシング研究センター 特任研究員の公募について

【求人内容】

本公募では、2025年開始の研究課題「次世代静止気象衛星ひまわり10号が拓く同位体大気水文科学の新展開」(科研費・基盤B)に従事する研究員を募集します。当課題は、水同位体の現地・気象観測、気象・気候モデル、データ同化・AIの多岐にわたる技術を駆使し、雲・降水過程の理解進化を通じた気象・気候予測不確実性低減を目指します。

記

1. 公募人員:1 名

2. 募集分野: 大気水圏学又は水工学を専攻している研究者で、採用時に博士号を取得している方、または近日中に博士号を取得見込みの方。

3. 業務内容:

下記に示す研究テーマのうちいずれか、又は複数の課題に関連した研究教育活動に従事する研究員を募集します。

- ・水同位体雲解像モデルの開発
- ・降水・水蒸気同位体観測及びドローン観測を用いた雲・降水過程理解進化
- ・水同位体情報を用いた気候モデルパラメタ推定
- ・データ同化を転用した Emergent Constraints による温暖化予測不確実性低減手法開発

数値モデルを使った経験や現地観測・試料分析の経験がある方が望ましいですが、必須ではありません。未経験の方からの応募も歓迎いたします。より詳しい研究内容について知りたい方は、下記までお問い合わせください。

【応募資格】

気象予測、地球温暖化予測、気象・気候モデル、データ同化、同位体試料分析のいずれかに関する研究分野で、研究実績を持つ方。当該分野の研究経験がなくても同研究分野への関心・意欲があれば専門分野は問いません。

4. 着任時期: 令和7年10月1日（着任日は応相談。早期着任歓迎です。）

5. 採用期間: 契約は年度ごと（3月31日まで）までですが、勤務実績、業務の必要性、雇用経費の状況等の基準により判断し、契約を更新することがあります。

6. 待遇等:

- (1) 職名: 特任研究員(常勤)
- (2) 給与等: 本学特定雇用職員給与規程を適用。経験年数に応じて決定。
- (3) 勤務時間: 8時30分～17時15分、週5日、1日あたり7時間45分勤務（専門業務型裁量労働制）
- (4) 休日: 土日祝、年末年始
- (5) 休暇: 本学特定雇用職員就業規程に基づき付与

(6) 諸手当 : 通勤手当 (支給要件を満たした場合、規程に基づき支給)

(7) 保険 : 共済組合、雇用保険、労災保険に加入

7. 選考方法: 書類選考、及び、面接により決定します。なお、遠方にお住まいの方はオンラインで面接を行います。

8. 提出書類:

(1) 履歴書 千葉大学指定書式(ファイルは CERE S のウェブサイトより取得して下さい)。

(2) 研究業績リスト 様式自由(査読論文とそれ以外を分けて記載して下さい)。

(3) 主要論文別刷 3 編(コピー可、原則として単著または筆頭著者論文)

(4) これまでの研究内容と採用後の抱負。形式自由 (各 A4 用紙1枚程度で記述してください)。

(5) 意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先(様式自由)。

※(2)業績リストは、同等の内容が記入された WEB ページ(researchmap 等)の URL を送付することで代替できます。

※件名は「千葉大学・特任研究員の公募(同位体水文気象分野)」とし、開封確認請求を行ってください。

※応募書類は、すべて当方にて責任をもって破棄いたします。

9. 公募締切: 令和7年8月31日必着。ただし、適任者が決まり次第、公募を終了いたします。

10. 書類送付先: 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学環境リモートセンシング研究センター 小槻 峻司

・ 封筒の表に「特任研究員応募書類在中」と朱書、簡易書留で送付すること。

11. 問い合わせ先:

(職務): 千葉大学環境リモートセンシング研究センター 岡崎 淳史

電話: 043-290-3834、e-mail: atsushi.okazaki[*]chiba-u.jp [*]部分を@マークに変えてください

(給与待遇等): 千葉大学西千葉地区事務部理工系総務課 センター支援係 若月 雄二

電話: 043-290-3832、e-mail: bee3832[*]office.chiba-u.jp 同上

12. その他:

・ 選考の過程で面接を行う場合があります。旅費は支給されません。

・ 給与は本学特定雇用職員給与規程を適用し、経験年数に応じて決定されます。学位取得後1年目の場合、年収は528万円前後となる見込みです。